

ここだけの風景と、とっておき体験を国内外へ発信
 ～広域・官民連携で観光交流事業を推進～

三好市観光課 主任主査 大和 勉



日本の原風景が残る桃源郷…三好

三好市は、四国のほぼ中央にある四国一面積が大きい自治体で、古くから交通の要衝として栄えた地域です。剣山や吉野川が織りなす美しい自然美と、日本の原風景が残る桃源郷のような場所、独特な文化や人々の暮らしに出会える場所として、海外からも注目をされるようになりました。観光資源には、祖谷のかずら橋、大歩危小歩危峡、祖谷溪、落合集落、かかし



日本の原風景が残る祖谷の風景

谷温泉郷などがあるほか、ラフティング、ウエイクボードなどのウォータースポーツ、剣山トレッキングも含めたアクティビティが盛んです。ご当地グルメでは、祖谷そば、でこまわし、鮎・アメゴ料理、地酒、ジビエ料理などが人気です。



秘境感とスリルが楽しめる「祖谷のかずら橋」

観光資源に恵まれる反面、過疎・高齢化が進行し、人口減少に歯止めがかかっていません。こうした中、交流人口や移住者の受け入れ拡大に向けた取り組みを進めています。特に「観光交流事業」の推進は、広域連携、官民の連携、外国人アドバイザーとの連携を柱とした取り組みを積極的に進めています。

観光圏と地域の様々な連携

まず広域連携による観光交流事業は、三好市、美馬市、つるぎ町、東みよし町の4市町で構成される「にし阿波く剣山・吉野川観光圏」の観光地域づくりプラットフォーム「一般社団法人そらの郷」との連携事業を展開しています。農家民泊を活かした教育旅行の受け入れ、圏内で独自性の高い体験コンテンツを観光交流に活かす滞在プログラム造成など、旅行者だけでなく、そこに住む地域住民の満足度向上を図る着地型観光に取り組みんでいます。

次に官民連携による観光交流事業は、民間任意団体「大歩危・祖谷いってみる会」との連携があります。同会

大歩危祖谷いってみる会



観光戦略を牽引する大歩危祖谷いってみる会



吉野川でのラフティング
 (今年10月には世界大会)

外国人アドバイザーとの連携では、東洋文化研究家のアレックス・カー氏を招へいし、外国人の視点を活かした独自性の高い取り組みを進めています。祖谷は、かざら橋が有名ですが、さらにその奥には「奥祖谷」と呼ばれる、まだあまり知られていない隠れた観光ス



空き家を活用した民家ステイ

外国人の視点を活かした独自の取り組み

は、大歩危・祖谷にある5つの宿泊施設が地域内外の関係事業者と協力を呼びかけて平成12年に結成されました。それまで個々に営業していたものを一つの温泉エリア「大歩危祖谷温泉郷」として命名し、共同仕入れから営業活動、イベント開催に取り組み、特にインパウンドの宿泊者数を伸ばしています。三好市では、こうした成果を生み出している民間団体のノウハウを取り入れることで、国内外セールスなどにより効果的なプロモーションが実施できるようになりました。市内での観光客の受入環境整備を図るうえで、民間の声は非常に重要であることから、会議などを通じて、意見交換を重ねています。



素晴らしいロケーションは地域の宝

ポットがあり落合集落は国の重要な建造物群保存地区に選定され、独特な集落風景と生活文化は海外からも注目をされています。急速な過疎化が進む三好市では、空き家は深刻な課題ですが、落合集落では、朽ち果てかけていた空き家8棟を創建当時の茅葺き民家に再生し、交流滞在施設(宿泊施設)として活用しています。ここでは、都会では味わうことができない非日常生活「祖谷の暮らし」が体験できるコンテンツで、ここだけのサービスや体験プログラムにこだわったステイ事業を進めています。カー氏は、自ら祖谷の古い茅葺き民家に住みながら、祖谷の魅力国内外へ



ここだけのこだわり体験が海外旅行者にも人気

発信してきた第一人者です。日本人や地元にはあまりピンとこない風景でも海外からの旅行者にとっては新鮮であり、さらにここでの体験はここだけの輝いた観光資源であることを地元が気づきつかうかけとなりました。今日、祖谷に海外からの旅行者が増加してきた重要なポイントの一つです。

戦略的な取り組みの持続

最後に、三好市における観光交流事業を支えてきたのは、民間と行政が互いの持ち味をうまく連携させながら、戦略的な取り組みを持続してきたことが背景にあると考えます。今後は、過疎と高齢化による担い手などの人材不足の課題は拭えませんが、「他のエリアには無い光った魅力がここにはまだ残っていること」を市独自のブランド力として、地域全体で認識し合い、PRできるような取り組みを官民連携で進めていかなければなりません。さらに現在進行中の観光交流事業を持続させていくためには、担い手不足を解消することが重要であり、今後は地方創生施策とうまく連動した移住・交流人口の拡大に取り組まなければなりません。こうした中、今年度は三好市に国内外からたくさんのお客様がお越しになる機会(四国DC、観光列車、ラフティング世界大会、怪フオーラムなど)がありますので、是非このチャンスを活かして、国内外に三好市の素晴らしい魅力を発信できるよう努めていきます。